

材料工学委員会分科会の設置について

分科会等名：バイオマテリアル分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	材料工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	高齢社会の到来による健康・医療に対する社会的関心の増大に伴い、我が国の医療機器などの医療関連産業の育成が不十分であることに起因する貿易収支の不均衡の解消は喫緊の課題となりつつある。医療産業は世界的に見ても各国が注目する成長産業の一つであり、かつ、技術革新のスピードが早いために、関連する基盤科学技術の革新性が大きく競争力に影響を及ぼす特徴がある。実際、遺伝子治療、埋め込み型医療機器・デバイス開発における生体適合材料、再生医療システム開発における細胞担体材料等、基盤となるバイオマテリアルの革新性が最終製品の競争力を決定する大きな要因となっており、その点で、我が国の未来を左右する基幹科学技術としてのバイオマテリアル研究を育成・発展させることは材料工学分野における喫緊の課題である。バイオマテリアルは生体とのインターフェイスで用いられる事から、本源的に融合型科学技術であり、金属材料・高分子材料・無機材料という材料工学における主要分野は言うに及ばず、医学・薬学さらには社会への影響を踏まえての社会科学との連携がその発展には必至といえる。本分科会は、材料工学における分野融合型分科会として活動し、医・薬・工・社会連携を基盤として、バイオマテリアル研究の方向性と人材育成、さらには、得られた成果の迅速な社会還元の方策等についての検討を行い、主催シンポジウムの開催によって議論を深める。
4	審議事項	1. バイオマテリアルを基軸とする分野融合型人材の育成 2. バイオマテリアル研究の今後の方向性及び研究成果の迅速な社会還元方策 3. 上記の議論を深めるための主催シンポジウムの開催に係る審議に関すること。
5	設置期間	平成 29 年 10 月 4 日～平成 32 年 9 月 30 日
6	備考	